

平成 29 年 11 月 14 日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 吉 永 正 紀
(コード番号：3856 東証マザーズ)
問 合 せ 先 : 管 理 部 長 中 西 広 祐
電 話 : 0 3 - 6 8 6 4 - 4 0 0 1 (代 表)

(訂正)「平成 29 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 29 年 5 月 15 日に発表いたしました「平成 29 年 6 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして訂正すべき事項がありましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正理由

当社は、平成 29 年 9 月 27 日開催の第 18 回定時株主総会の決議に基づき、当期（平成 30 年 6 月期）より会計監査人を変更しておりますが、このたび、その会計監査人交代に係る期首残高の確認作業中に、平成 29 年 6 月期第 3 四半期の四半期連結財務諸表において、株式会社バローズの買収に伴う会計処理に誤りがあることが判明したため、関連項目について修正を行いました。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多岐にわたるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 Abalance株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3856 URL <http://www.abalance.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 正紀
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中西 広祐 TEL 03-6864-4001
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	5,190	55.3	374	30.8	294	△0.8	100	△45.7
28年6月期第3四半期	3,342	7.5	286	7.2	296	38.0	185	36.4

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 110百万円(△39.6%) 28年6月期第3四半期 182百万円(59.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年6月期第3四半期	19	87	19	85
28年6月期第3四半期	36	88	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
29年6月期第3四半期	6,827		1,396		19.8	261	17	
28年6月期	2,790		1,219		43.7	241	95	

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 1,354百万円 28年6月期 1,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年6月期	—	5.00	—	6.00	11.00	—
29年6月期	—	5.00	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年6月期の期末配当につきましては、まだ未定です。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,463	42.4	601	51.4	506	18.8	312	35.0	63	06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当第3四半期累計期間につきましては、太陽光発電事業において、当期計画に基づいたソーラーパネル及び関連製品の販売等が好調に推移したことに加え、当第3四半期連結会計期間内において、株式取得により連結子会社化した株式会社パローズの業績が寄与した結果、売上高が当初の通期連結業績予想を上回る結果となりました。また、その売上高の増加に伴う利益はあるものの、株式会社パローズの連結子会社化に係る諸費用等の経費を計上して、そのコストを反映した結果、当第3四半期累計期間の損益については、当初計画とおりにほぼ推移することになりました。当第3四半期累計期間の連結業績を反映し、また、太陽光発電事業における販売等が引き続き好調に推移している直近の業績動向及び当第4四半期の業績見通しを踏まえ、上記のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社 (社名 : VW合同会社、株式会社パローズ、株式会社パローズエンジニアリング)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年6月期3Q	5,189,511株	28年6月期	5,040,911株
29年6月期3Q	1,694株	28年6月期	1,294株
29年6月期3Q	5,074,137株	28年6月期3Q	5,039,722株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。
実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
3. その他	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に企業収益や雇用情勢に改善傾向が続き、個人消費は緩やかな回復基調が見られたものの、新興国経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱問題や米国の政権移行による影響等により、その先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、IT事業、建機販売事業を基盤に、太陽光発電（ソーラー）事業に注力して、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。

その太陽光発電（ソーラー）事業につきましては、当期計画に基づいたソーラーパネル及び関連製品の販売等に加え、当第3四半期連結会計期間内に株式取得により連結子会社化した株式会社バローズの業績も寄与した結果、前期同四半期連結累計期間比において、大幅な増収となりました。

今後の更なる成長のため、引き続き、太陽光発電（ソーラー）事業において、受注から建設工事の施工、その後の保守メンテナンス、IT技術を活かした遠隔監視など当社グループの強みである独自のワンストップサービスを基軸に市場競争力を向上させるとともに、新たにグループに加わった株式会社バローズとの事業シナジーを最大限に活用して、グループ全体の業績向上に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,190,109千円（前年同四半期比55.3%増）、営業利益は374,486千円（前年同四半期比30.8%増）、経常利益は294,513千円（前年同四半期比0.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100,828千円（前年同四半期比45.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. IT事業

当社主力製品「Knowledge Market」、MS事業におけるライセンス販売、SI、運用保守等により、売上高76,310千円（前年同四半期比8.6%増）、セグメント利益21,186千円（前年同四半期はセグメント損失2,622千円）となりました。

2. 建機販売事業

WWB(株)において、建設機械を国内及び海外に販売した結果、売上高489,987千円（前年同四半期比63.4%増）、セグメント損失20,112千円（前年同四半期はセグメント損失14,057千円）となりました。

3. 太陽光発電（ソーラー）事業

WWB(株)におけるソーラーパネル及び関連製品等の販売、およびバローズにおける太陽光発電所の分譲販売等により、売上高4,623,810千円（前年同四半期比55.5%増）、セグメント利益566,102千円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,097,750千円となり、前連結会計年度末に比べ2,678,218千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が551,324千円、仕掛品が1,520,016千円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,730,006千円となり、前連結会計年度末に比べ1,359,381千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,012,656千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,827,756千円となり、前連結会計年度末に比べ4,037,599千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,202,964千円となり、前連結会計年度末に比べ1,834,725千円増加いたしました。これは主に買掛金が437,042千円、1年内返済予定の長期借入金が561,943千円増加したこと等によるものであります。固定負債総額では2,227,921千円となり、前連結会計年度末に比べ2,025,327千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、5,430,886千円となり、前連結会計年度末に比べ3,860,053千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,396,870千円となり、前連結会計年度末に比べ177,547千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益100,828千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は19.8%（前連結会計年度末は43.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間につきましては、太陽光発電事業において、当期計画に基づいたソーラーパネル及び関連製品の販売等が好調に推移したことに加え、当第3四半期連結会計期間内において、株式取得により連結子会社化した株式会社バローズの業績が寄与した結果、売上高が当初の通期連結業績予想を上回る結果となりました。また、その売上高の増加に伴う利益はあるものの、株式会社バローズの連結子会社化に係る諸費用等の経費を計上して、そのコストを反映した結果、当第3四半期累計期間の損益については、当初計画とおりにはほぼ推移することとなりました。

当第3四半期累計期間の連結業績を反映し、また、太陽光発電事業における販売等が引き続き好調に推移している直近の業績動向及び当第4四半期の業績見通しを踏まえ、下記のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,084	百万円 540	百万円 500	百万円 311	円 銭 61.82
今回修正予想(B)	6,463	601	506	312	63.06
増減額(B-A)	1,379	61	6	1	
増減率(%)	27.1	11.3	1.2	0.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年6月期)	4,539	397	426	231	45.92

(注) 上記に記載した予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は今後の業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	495,830	1,047,154
受取手形及び売掛金	472,725	356,584
商品	385,279	470,339
販売用不動産	118,226	125,440
仕掛品	665,708	2,185,724
貯蔵品	83	385
立替金	71,622	416,742
その他	232,491	517,811
貸倒引当金	△22,435	△22,435
流動資産合計	2,419,532	5,097,750
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	19,455	711,367
その他(純額)	203,366	524,111
有形固定資産合計	222,821	1,235,478
無形固定資産		
のれん	二	281,891
ソフトウェア	5,213	8,681
その他	102	102
無形固定資産合計	5,315	290,675
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	339,347	369,472
関係会社長期未収入金	32,895	35,151
その他	97,626	155,422
貸倒引当金	△327,381	△356,192
投資その他の資産合計	142,488	203,853
固定資産合計	370,625	1,730,006
資産合計	2,790,157	6,827,756
負債の部		
流動負債		
買掛金	528,546	965,588
短期借入金	410,054	341,410
1年内返済予定の長期借入金	50,827	612,770
未払金	42,402	244,591
未払法人税等	54,095	137,932
繰延税金負債	二	212,227
前受金	222,834	558,987
その他	59,479	129,457
流動負債合計	1,368,239	3,202,964
固定負債		
長期借入金	92,370	1,971,603
繰延税金負債	400	115,571
その他	109,823	140,746
固定負債合計	202,594	2,227,921
負債合計	1,570,833	5,430,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,683	700,634
資本剰余金	—	44,951
利益剰余金	564,103	609,497
自己株式	△463	△775
株主資本合計	1,219,323	1,354,307
新株予約権	—	596
非支配株主持分	—	41,966
純資産合計	1,219,323	1,396,870
負債純資産合計	2,790,157	6,827,756

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,342,664	5,190,109
売上原価	2,542,620	4,023,541
売上総利益	800,044	1,166,568
販売費及び一般管理費		
役員報酬	73,650	67,950
給料	152,830	203,061
支払手数料	101,670	282,244
研究開発費	—	12,000
減価償却費	2,768	5,814
のれん償却額	13,021	8,054
貸倒引当金繰入額	△50	—
その他	169,791	212,956
販売費及び一般管理費合計	513,681	792,081
営業利益	286,362	374,486
営業外収益		
受取利息	1,603	467
為替差益	25,521	—
受取保険料	—	3,237
受取手数料	—	2,917
その他	635	2,018
営業外収益合計	27,760	8,639
営業外費用		
支払利息	8,911	14,153
支払手数料	5,677	43,743
為替差損	—	9,422
持分法による投資損失	2,681	15,262
その他	7	6,030
営業外費用合計	17,277	88,612
経常利益	296,845	294,513
特別利益		
固定資産売却益	1,318	—
新株予約権戻入益	690	—
特別利益合計	2,008	—
特別損失		
固定資産売却損	124	—
特別損失合計	124	—
税金等調整前四半期純利益	298,730	294,513
法人税、住民税及び事業税	71,883	177,614
法人税等調整額	44,096	6,696
法人税等合計	115,980	184,311
四半期純利益	182,750	110,202
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,088	9,374
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,839	100,828

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	182,750	<u>110,202</u>
四半期包括利益	182,750	<u>110,202</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,839	<u>100,828</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,088	<u>9,374</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する摘要指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する摘要指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	I T 事業	建機販売事業	太陽光発電事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	70,246	299,792	2,972,626	3,342,664	—	3,342,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	70,246	299,792	2,972,626	3,342,664	—	3,342,664
セグメント利益又は 損失(△)	△2,622	△14,057	473,225	456,545	△170,182	286,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,182千円は、のれんの償却額△13,021千円及び各報告セグメントに配賦されない全社費用△157,161千円であります。全社費用は主に管理部門で発生した経費です。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	I T 事業	建機販売事業	太陽光発電事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	76,310	489,987	4,623,810	5,190,109	—	5,190,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	76,310	489,987	4,623,810	5,190,109	—	5,190,109
セグメント利益又は 損失(△)	21,186	△20,112	566,102	567,177	△192,690	374,486

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,690千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用△192,690千円
であります。全社費用は主に管理部門で発生した経費です。
2. 太陽光発電事業の報告セグメントには、のれん償却額8,054千円が含まれております。
3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 企業結合の概要

i) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社バローズ

事業の内容：太陽光発電所の企画、開発および販売

ii) 企業結合の主な理由

当社グループは、太陽光発電事業において西日本エリアの顧客開拓の深化及び事業シナジー等の実現が可能になり、事業規模の拡大とともにより高品質な再生可能エネルギー発電ソリューションサービスの提供が見込めることから判断いたしました。

iii) 企業結合日 平成29年3月21日

iv) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

v) 企業結合後の名称

株式会社バローズ

vi) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 95.0%

vii) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得による企業結合であるため、現金の引き渡しを行った当社の連結子会社であるWWB株式会社により設立されたVW合同会社を取得企業としております。

取得対価及びその内訳

(単位：千円)

対価	金額
現金	1,058,000
合計	1,058,000

- (注) 1. 取得関連費用：当該企業結合に係る取得関連費用として、158,000千円を要約四半期連結損益計算書の「販売及び一般管理費」に計上しております。
2. 条件付対価はありません。

取得日における取得資産、引受負債の公正価値

(単位：千円)

科目	金額
流動資産 (注) 1	2,905,706
固定資産	686,131
流動負債	2,274,090
固定負債	674,617
純資産	643,128

- (注) 1. 現金及び現金同等物497,406千円が含まれております。

発生したのれんの金額・発生原因・償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

289,945千円

② 発生原因

主として今後の事業展開による超過収益力

③ 償却方法及び償却期間

3年間にわたる均等償却

当社グループの業績に与える影響

当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に含まれている、VW合同会社、株式会社パローズおよび株式会社パローズエンジニアリングの取得日からの業績は次のとおりです。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	1,122,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,287

3. その他

該当事項はありません

(訂正前)



平成29年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月15日

上場会社名 Abalance株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3856 URL http://www.abalance.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉永 正紀
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 中西 広祐 TEL 03-6864-4001
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第3四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	5,190	55.3	382	33.6	302	1.9	73	△60.4
28年6月期第3四半期	3,342	7.5	286	7.2	296	38.0	185	36.4

(注) 包括利益 29年6月期第3四半期 73百万円(△60.4%) 28年6月期第3四半期 182百万円(59.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年6月期第3四半期	14	51	14	50
28年6月期第3四半期	36	88	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
29年6月期第3四半期	6,545	—	1,327	—	20.3	255	83	
28年6月期	2,790	—	1,219	—	43.7	241	95	

(参考) 自己資本 29年6月期第3四半期 1,326百万円 28年6月期 1,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
28年6月期	—	5.00	—	6.00	11.00	—
29年6月期	—	5.00	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年6月期の期末配当につきましては、まだ未定です。

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	6,463	42.4	601	51.4	506	18.8	312	35.0	63	06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当第3四半期累計期間につきましては、太陽光発電事業において、当期計画に基づいたソーラーパネル及び関連製品の販売等が好調に推移したことに加え、当第3四半期連結会計期間内において、株式取得により連結子会社化した株式会社パローズの業績が寄与した結果、売上高が当初の通期連結業績予想を上回る結果となりました。また、その売上高の増加に伴う利益はあるものの、株式会社パローズの連結子会社化に係る諸費用等の経費を計上して、そのコストを反映した結果、当第3四半期累計期間の損益については、当初計画とおりにほぼ推移することになりました。当第3四半期累計期間の連結業績を反映し、また、太陽光発電事業における販売等が引き続き好調に推移している直近の業績動向及び当第4四半期の業績見通しを踏まえ、上記のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 3社 (社名 : VW合同会社、株式会社パローズ、株式会社パローズエンジニアリング)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

29年6月期3Q	5,189,511株	28年6月期	5,040,911株
29年6月期3Q	1,694株	28年6月期	1,294株
29年6月期3Q	5,074,137株	28年6月期3Q	5,039,722株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。
実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
3. その他	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に企業収益や雇用情勢に改善傾向が続き、個人消費は緩やかな回復基調が見られたものの、新興国経済の減速懸念に加え、英国のEU離脱問題や米国の政権移行による影響等により、その先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、IT事業、建機販売事業を基盤に、太陽光発電（ソーラー）事業に注力して、グループ全体の業績向上に努めてまいりました。

その太陽光発電（ソーラー）事業につきましては、当期計画に基づいたソーラーパネル及び関連製品の販売等に加え、当第3四半期連結会計期間内に株式取得により連結子会社化した株式会社バローズの業績も寄与した結果、前期同四半期連結累計期間比において、大幅な増収となりました。

今後の更なる成長のため、引き続き、太陽光発電（ソーラー）事業において、受注から建設工事の施工、その後の保守メンテナンス、IT技術を活かした遠隔監視など当社グループの強みである独自のワンストップサービスを基軸に市場競争力を向上させるとともに、新たにグループに加わった株式会社バローズとの事業シナジーを最大限に活用して、グループ全体の業績向上に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,190,109千円（前年同四半期比55.3%増）、営業利益は382,540千円（前年同四半期比33.6%増）、経常利益は302,567千円（前年同四半期比1.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73,622千円（前年同四半期比60.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. IT事業

当社主力製品「Knowledge Market」、MS事業におけるライセンス販売、SI、運用保守等により、売上高76,310千円（前年同四半期比8.6%増）、セグメント利益21,186千円（前年同四半期はセグメント損失2,622千円）となりました。

2. 建機販売事業

WWB(株)において、建設機械を国内及び海外に販売した結果、売上高489,987千円（前年同四半期比63.4%増）、セグメント損失20,112千円（前年同四半期はセグメント損失14,057千円）となりました。

3. 太陽光発電（ソーラー）事業

WWB(株)におけるソーラーパネル及び関連製品等の販売、およびバローズにおける太陽光発電所の分譲販売等により、売上高4,623,810千円（前年同四半期比55.5%増）、セグメント利益574,156千円（前年同四半期比21.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,097,750千円となり、前連結会計年度末に比べ2,678,218千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が551,324千円、仕掛品が1,520,016千円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,448,115千円となり、前連結会計年度末に比べ1,077,490千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が1,012,656千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、6,545,865千円となり、前連結会計年度末に比べ3,755,707千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,990,737千円となり、前連結会計年度末に比べ1,622,497千円増加いたしました。これは主に買掛金が437,042千円、1年内返済予定の長期借入金が561,943千円増加したこと等によるものであります。固定負債総額では2,227,921千円となり、前連結会計年度末に比べ2,025,327千円増加いたしました。

この結果、負債合計は、5,218,659千円となり、前連結会計年度末に比べ3,647,825千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,327,206千円となり、前連結会計年度末に比べ107,883千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益73,622千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は20.3%（前連結会計年度末は43.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間につきましては、太陽光発電事業において、当期計画に基づいたソーラーパネル及び関連製品の販売等が好調に推移したことに加え、当第3四半期連結会計期間内において、株式取得により連結子会社化した株式会社バローズの業績が寄与した結果、売上高が当初の通期連結業績予想を上回る結果となりました。また、その売上高の増加に伴う利益はあるものの、株式会社バローズの連結子会社化に係る諸費用等の経費を計上して、そのコストを反映した結果、当第3四半期累計期間の損益については、当初計画とおりにはほぼ推移することとなりました。

当第3四半期累計期間の連結業績を反映し、また、太陽光発電事業における販売等が引き続き好調に推移している直近の業績動向及び当第4四半期の業績見通しを踏まえ、下記のとおり通期連結業績予想を修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,084	百万円 540	百万円 500	百万円 311	円 銭 61.82
今回修正予想(B)	6,463	601	506	312	63.06
増減額(B-A)	1,379	61	6	1	
増減率(%)	27.1	11.3	1.2	0.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年6月期)	4,539	397	426	231	45.92

(注) 上記に記載した予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は今後の業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	495,830	1,047,154
受取手形及び売掛金	472,725	356,584
商品	385,279	470,339
販売用不動産	118,226	125,440
仕掛品	665,708	2,185,724
貯蔵品	83	385
立替金	71,622	416,742
その他	232,491	517,811
貸倒引当金	△22,435	△22,435
流動資産合計	2,419,532	5,097,750
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	19,455	711,367
その他(純額)	203,366	524,111
有形固定資産合計	222,821	1,235,478
無形固定資産		
ソフトウェア	5,213	8,681
その他	102	102
無形固定資産合計	5,315	8,783
投資その他の資産		
関係会社長期貸付金	339,347	369,472
関係会社長期未収入金	32,895	35,151
その他	97,626	155,422
貸倒引当金	△327,381	△356,192
投資その他の資産合計	142,488	203,853
固定資産合計	370,625	1,448,115
資産合計	2,790,157	6,545,865
負債の部		
流動負債		
買掛金	528,546	965,588
短期借入金	410,054	341,410
1年内返済予定の長期借入金	50,827	612,770
未払金	42,402	244,591
未払法人税等	54,095	137,932
前受金	222,834	558,987
その他	59,479	129,457
流動負債合計	1,368,239	2,990,737
固定負債		
長期借入金	92,370	1,971,603
繰延税金負債	400	115,571
その他	109,823	140,746
固定負債合計	202,594	2,227,921
負債合計	1,570,833	5,218,659

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,683	700,634
資本剰余金	—	44,951
利益剰余金	564,103	581,799
自己株式	△463	△775
株主資本合計	1,219,323	1,326,609
新株予約権	—	596
純資産合計	1,219,323	1,327,206
負債純資産合計	2,790,157	6,545,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	3,342,664	5,190,109
売上原価	2,542,620	4,023,541
売上総利益	800,044	1,166,568
販売費及び一般管理費		
役員報酬	73,650	67,950
給料	152,830	203,061
支払手数料	101,670	282,244
研究開発費	—	12,000
減価償却費	2,768	5,814
のれん償却額	13,021	—
貸倒引当金繰入額	△50	—
その他	169,791	212,956
販売費及び一般管理費合計	513,681	784,027
営業利益	286,362	382,540
営業外収益		
受取利息	1,603	467
為替差益	25,521	—
受取保険料	—	3,237
受取手数料	—	2,917
その他	635	2,018
営業外収益合計	27,760	8,639
営業外費用		
支払利息	8,911	14,153
支払手数料	5,677	43,743
為替差損	—	9,422
持分法による投資損失	2,681	15,262
その他	7	6,030
営業外費用合計	17,277	88,612
経常利益	296,845	302,567
特別利益		
固定資産売却益	1,318	—
新株予約権戻入益	690	—
特別利益合計	2,008	—
特別損失		
固定資産売却損	124	—
特別損失合計	124	—
税金等調整前四半期純利益	298,730	302,567
法人税、住民税及び事業税	71,883	177,614
法人税等調整額	44,096	51,341
法人税等合計	115,980	228,955
四半期純利益	182,750	73,612
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,088	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	185,839	73,622

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	182,750	<u>73,612</u>
四半期包括利益	182,750	<u>73,612</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,839	<u>73,622</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,088	<u>△10</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する摘要指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する摘要指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	I T 事業	建機販売事業	太陽光発電事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	70,246	299,792	2,972,626	3,342,664	—	3,342,664
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	70,246	299,792	2,972,626	3,342,664	—	3,342,664
セグメント利益又は 損失(△)	△2,622	△14,057	473,225	456,545	△170,182	286,362

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,182千円は、のれんの償却額△13,021千円及び各報告セグメントに配賦されない全社費用△157,161千円であります。全社費用は主に管理部門で発生した経費です。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成29年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	I T 事業	建機販売事業	太陽光発電事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	76,310	489,987	4,623,810	5,190,109	—	5,190,109
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	76,310	489,987	4,623,810	5,190,109	—	5,190,109
セグメント利益又は 損失(△)	21,186	△20,112	574,156	575,231	△192,690	382,540

(注) 1. セグメント利益の調整額△192,690千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用△192,690千円
であります。全社費用は主に管理部門で発生した経費です。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 企業結合の概要

i) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：株式会社バローズ

事業の内容：太陽光発電所の企画、開発および販売

ii) 企業結合の主な理由

当社グループは、太陽光発電事業において西日本エリアの顧客開拓の深化及び事業シナジー等の実現が可能になり、事業規模の拡大とともにより高品質な再生可能エネルギー発電ソリューションサービスの提供が見込めることから判断いたしました。

iii) 企業結合日 平成29年3月21日

iv) 企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

v) 企業結合後の名称

株式会社バローズ

vi) 取得した議決権比率

取得後の議決権比率 100.0%

vii) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とする株式取得による企業結合であるため、現金の引き渡しを行った当社の連結子会社であるWWB株式会社により設立されたVW合同会社を取得企業としております。

取得対価及びその内訳

(単位：千円)

対価	金額
現金	1,058,000
合計	1,058,000

- (注) 1. 取得関連費用：当該企業結合に係る取得関連費用として、158,000千円を要約四半期連結損益計算書の「販売及び一般管理費」に計上しております。
2. 条件付対価はありません。

取得日における取得資産、引受負債の公正価値

(単位：千円)

科目	金額
流動資産 (注) 1	2,905,706
固定資産	686,131
流動負債	2,017,219
固定負債	674,617
純資産	900,000

- (注) 1. 現金及び現金同等物497,406千円が含まれております。

当社グループの業績に与える影響

当第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に含まれている、VW合同会社、株式会社バローズおよび株式会社バローズエンジニアリングの取得日からの業績は次のとおりです。

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,122,686
親会社株主に帰属する四半期純利益	<u>△51,195</u>

3. その他

該当事項はありません